

連続シンポジウム

「世界哲学・世界哲学史を再考する」第一回

世界哲学史の可能性：中国と ヨーロッパを付き合わせる

【日時】

2021年3月9日（火）

14:00~16:00

【場所】 Zoom ミーティング



[https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZ0rdeGprT0rGNaq9ETYaK9I-Akl4C5A8eKQ](https://us02web.zoom.us/join/https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZ0rdeGprT0rGNaq9ETYaK9I-Akl4C5A8eKQ)

※要事前登録

【言語】 日本語

報告者：納富信留（司会）、中島隆博、石井剛

コメンテーター：崎濱紗奈、田村正資

【プログラム】

本シリーズの趣旨説明（納富）	: 14:00~14:15
世界哲学史の軸としての中国とヨーロッパ（納富）	: 14:15~14:30
中国古代からの視点（中島）	: 14:30~14:45
中国近代からの視点（石井）	: 14:45~15:00
コメント1（田村正資）	: 15:00~15:10
コメント2（崎濱紗奈）	: 15:10~15:20
報告者の間での討論	: 15:20~15:50
まとめと今後の課題（納富・中島）	: 15:50~16:00



東アジア藝文書院

『世界哲学史』（全8巻+別巻、ちくま新書、2020年）では110名以上の哲学研究者の協力をえて、西洋中心から世界に場を広げる哲学史を試みた。

その成果を振り返りながら、世界哲学史という構想の可能性と問題点を改めて議論するシリーズである。初回はヨーロッパと中国という二つの哲学の伝統とその関係を議論する。



【主催】

東京大学東アジア藝文書院（EAA）

【共催】

哲学会

【連絡先】

納富信留 notomi@l.u-tokyo.ac.jp